

2017.10.15 No.55

発行人 河田正一
岡山市北区御津高津 874
☎086-724-0895
<http://k.okjcp.jp/>

河田正一

検索

ブログ



交渉記録「不存在」汚染水流出の不安

それでも
**産廃処分場建設
再許可**

岡山市長は、西日本ア
チューマットの御津虎倉産
廃処分場の建設を8月に許
可しました。エヌエス日進
による安定型処分場の建設
が4月に許可されたばかり
です。

西日本アチューマットの
計画は、最高裁で建設差し

止めが確定していました。
しかし、市が出した建設許
可を取り消すよう求める行
政訴訟で不利な判決が出る
と判断した岡山市は、最高
裁での審理前に、業者と協
議の上で許可を「職権取消」
しました。

計画の申請をやり直させ

ることなく、環境アセスや
地元同意の取り直しなども
しないで、調整池容量を増
やすという軽微な変更手続
きでの再許可です。

職権取消をした15年12月
の市と業者の交渉記録の開
示を求めたところ、「該当
文書不存在」と非公開にし
ました。重要な決定の記録
が「無い」というのは、森友・
加計問題での国の対応と通
じるものがあります。

反対運動を続けてきた産
廃阻止同盟は、大雨で汚染
水が流れ出せば、豊かな自
然が壊れ、市民の飲み水が
汚染されると、訴訟で再び
争う準備をしています。

計画地の下流に土砂災害警戒区域

足守に

巨大ソーラー計画

足守・大井・栗井の巨大
な大規模太陽光発電施設の
計画について河田正一議員

は、ゴルフ場に匹敵する規
模の土地開発で山の形状が
変わり、大雨時の出水で氾
濫等が懸念されると議会で
質しました。計画地の直下
流は多くが土砂災害警戒区
域になっています。この地
区は記録に残るだけでも何
度も洪水に見舞われ、日近

川、足守川も氾濫し、死者
が出た歴史があります。

市は「県の林地開発許可
を見守る」と、傍観する姿
勢ですが、河田議員は環境
影響評価に大規模太陽光発
電を入れること及び大規模
太陽光発電の適正設置ガイ
ドラインを作ることを求め
ました。



菅井王位に
市民栄誉表彰

将棋の八大タイトルの一
つである「王位」を獲得し
た菅井竜也七段（御津紙工
在住）が、岡山市栄誉表彰
を授与されました。河田正
一議員が表彰式に同行しま
した。